

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

明日香

日付 平成 20年 2月 15日  
特定非営利活動法人

**評価機関名**

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 在宅介護経験13年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

平成15年9月に開設して丸4年余り経過したグループホームは、丁度私共の外部評価機関と共に歩んで来た事になる。そして4回の外部評価から現在のホームを見つめてみたい。

グループホームという舞台を支えているのは、職員 = 人間である。特に社会福祉法人とか医療法人のような大きなバックボーンの無い個人的に運営しているホームでは、そこに従事している管理者と職員の力量と人間性、そしてチームワーク等によって雰囲気作られ、そこで生活する利用者に与える影響が大きいことは言うまでもない。このホームでは、この4年間に管理者が3人交代し、現在の管理者で2回の外部評価に付き合ってくれた。ようやく落ち着きを見せ、職員と共に次のステップに目標を持って、地固めしていこうとしている努力を感じた。このホームで行っている職員間での意思疎通の一つはフロアミーティングがあり、活発な意見交換をしているが、経費節減について管理者から職員へ通達文書があり、その中で管理者と職員間でキャッチボールしているアンケートに注目した。その質問内容は、「ケアスタッフとして何を大切に思っていますか グループホームとしては「穏やかに安心して暮らしていただく」事が究極の目標です。その為に各自気をつけていることをあげて下さい 今年度の目標「下肢筋力の維持向上」は皆さん周知のことです。これに対しどのような意識で取り組んでいますか ケアスタッフとして今後の思い、抱負を上げて下さい。この4つの設問に、管理者自らと職員が答えて記述している文書を見た。日頃ミーティングで口答で話し合うより、この文書を見ると職員の考えていること、資質、力量が鮮明にわかる。これを管理者は当然であるが、代表者がどのように理解し、ホームの運営にどう活かしていくか、その積極性が問われることであろう。この4つの設問は、ホームにとって極く当り前のことであるが、この設問を思いついた管理者の意図に関心を持つと同時に、これの常日頃の運用に大いに期待している。そして管理者(計画作成担当を現在は兼務)の意欲を汲んでおきたい。

人材確保に大変な時であるが、代表者は管理者と職員を安定させ、若い人材も育成して、更に飛躍していくよう努力をして欲しい。これが、利用者への最高のプレゼントであるだろう。

特に改善の余地があると思われる点

開設以来4年が経過しているが、地域とは孤立しているように思える。今までの考え方の違いを是正し、これからの方向性を示して、地域と共に歩む事を念頭に運営推進会議を開いてもらいたい。幸いにもデイサービス「あすか」が敷地内に併設されているので、協力し合って地域の行事等には積極的に参加をして、ホームの行事にも地域の方を招いて、双方向の交流を期待している。代表者・管理者・職員が協働して地域に働きかけてもらいたい。

## 2. 評価結果(詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営理念はグループホームの特長を示すものであり、地域と共に歩んでいくために、地域の皆さんに理念を具体的に理解してもらえるよう啓発の方法を検討している。これを契機として、地域とのつながりを深めていくことは大変重要なことである。</p> <p>2、全体的に見て…：「家庭的な雰囲気の中で安心して穏やかに暮らしていける」を理念として、今年度の目標は「下肢筋力の維持向上」を掲げている。毎日、全員で午前中に体操をしながらコミュニケーションをして楽しく過ごしている。そして、ホームの廊下とリビングルームの中を、それぞれの体力と能力に合わせて歩行訓練をする。歩く人、歩行器で歩く人、手引きで歩く人、車椅子の人は自分の力でホイールをまわして歩いている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：生活空間の改善事項はない。各居室はトイレと洗面台が完備され、利用者にとって便利で、プライバシーの保護につながっている。</p> <p>2、全体的に見て…：ソファのコーナー、テーブルと椅子の場所などそれぞれの居場所がある。利用者は時々に合わせて、友達と二人で一緒に座って話をしたり、一人で貼り絵や塗り絵をして、自由な時間を過ごしている。また、いつも厨房のキッチンカウンター越しに、職員の調理をのぞきながら眺めている男性や職員と話をしている女性等、利用者は安心して過ごせる居場所と時間を確保している。職員はそのような利用者の行動を見守り、陰ながらの支援をしている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：利用者に行事としての外出の機会を作って楽しませてあげたいと考えている。又、感染症対策のマニュアルを作成して予防措置を完全なものにしたいとしている。その他ケアを充実していく為に職員の研修を含め、改良は日頃から進めるよう意欲的に考えている。</p> <p>2、全体的に見て…：毎日の暮らしの中では、調理の手伝いをしたり、毎食事の時の配膳や下膳は出来る人は必ず自分で行うようにしている。又、塗り絵や貼り絵などの手作業は、今までした事がなかった人も熱心にするようになり、それぞれが熱中して素晴らしい作品を作っている。又、植木の剪定の心得のある利用者は、自分の居室で植木鉢をたくさん置いて、植物栽培を楽しんでいる。利用者一人ひとりにとって何をしたら一番いいかを考えながら支援している。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：代表者・管理者・職員が意見交換を活発にして運営に活かしている体制作りが最も大切な事と考えている。又、地域・近隣住民との協力体制を作り、協力関係を持っていけるようにしていこうと考えている。これはホームが存続していく為に必要な事であり、運営推進会議を軌道に乗せて是非良い関係を構築して貰いたい。</p> <p>2、全体的に見て…：代表者・管理者で地域の代表者との関係改善も出来つつあり、主な人と個別に話し合っ、良い方向に持っていかうとしている。又、明日香だよりを季刊で発行して、町内会にも回覧して貰い、ホームを理解して貰えるよう努力している。オーナーミーティングも、もっと回数を重ねて、代表者と職員間の意志疎通をしっかりとってもらいたい。職員間では諸業務の役割担当を作り、一つひとつ改良していこうと努力中であり、今後の成果に期待したい。</p>		